



**U**ターン  
伊村敬祐・望さん  
.....  
会社員

伊村敬祐さんと望さん夫婦は、2人ともUターン。敬祐さんは千葉県や神奈川県で、望さんはオーストラリアで働いていました。

海外で暮らしていた望さんは「海外の暮らしも充実していましたが、海外より日本、日本の中でも生まれ育った御前崎の暮らしが一番ですね。親や友人、家族に囲まれた暮らしは楽しいしとても幸せです。今後も海外生活で得た国際感覚を子育てや生活に生かしていきたいです」と笑顔で話します。

今回取材させていただいたUターンやIターンした人たちが共通して感じていたことは「このまちには多様なライフスタイルや夢を実現できる土壌がある」ということ。若い人たちには、そんな魅力が御前崎にはあるということを中心に留めておいてほしいと思います。

華やかで、オシャレに映る都会での暮らしへの憧れは、若者たちにとってはシンドロームのようなもので止められるものではありません。それならば、本号で取材した松林良徳さんの考え「まずは都会でとことん成長してもらい、いずれはこの地域で花を咲かせてもらう」という応援の仕方が御前崎では最適なのかもしれません。

若者はまちの原動力となる必要不可欠な宝です。地元にいる私たちに必要なことは、若者たちがいつでも戻ってくるができるように、情報発信や就職の受け皿を用意しておくこと。地域や行政、企業が一体となって若者たちを応援していきましょう。